

熊本地震の特徴として、最大震度7の前震と本震が立て続けに発生した点があげられる。このため、熊本県熊本地方の周辺で住宅損壊や交通マヒの被害が多発するなど、局所的に大きな被害が発生し、社会的影響の大きい災害となった。

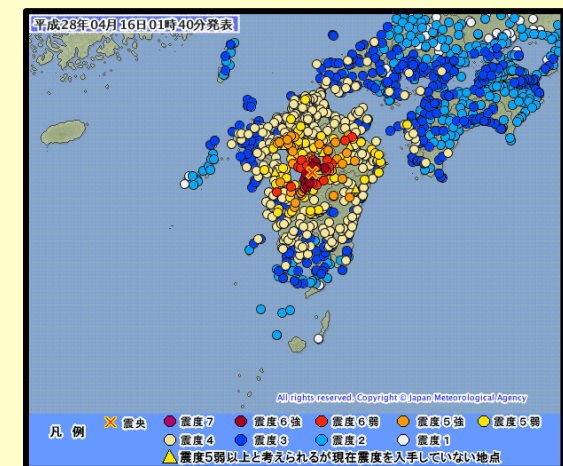
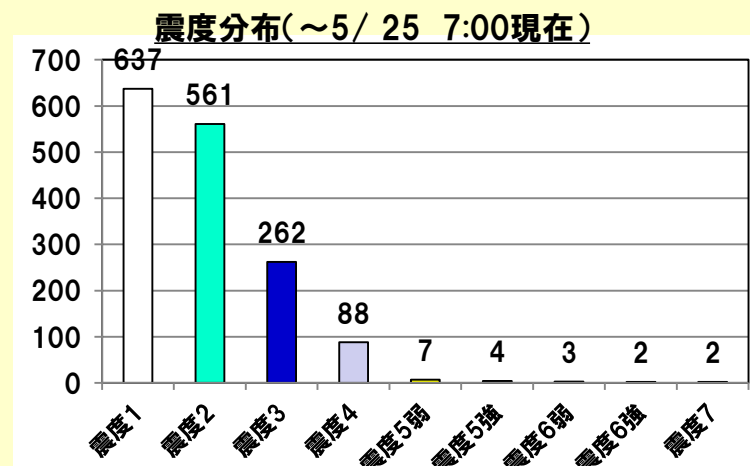
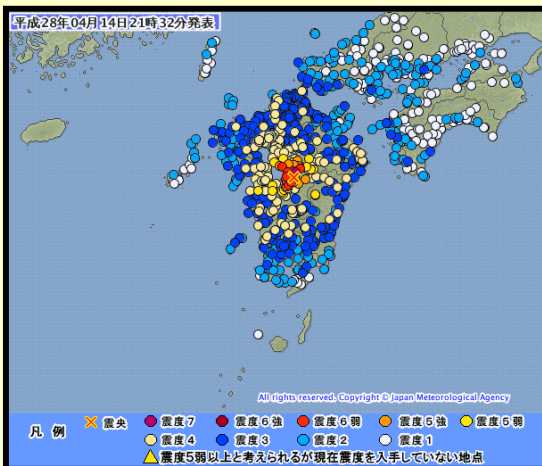
熊本地震の概況

前震

発生	2016/4/14(木) 21:26
場所	震源地:熊本県熊本地方 震源の深さ:約11km
規模	マグニチュード6.5
最大震度	震度7 熊本県熊本 震度5弱 熊本県阿蘇 熊本県天草・芦北 宮崎県北部山沿い
津波	なし

本震

発生	2016/4/16(土) 1:25
場所	震源地:熊本県熊本地方 震源の深さ:約11km
規模	マグニチュード7.3
最大震度	震度7 熊本県熊本 熊本県西原 震度6強 熊本県南阿蘇・嘉島・宇土・宇城 震度6弱 熊本県阿蘇・八代・玉名・菊陽他
津波	津波注意報発表(2:14に解除)



出典: 気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/>)

ドコモ関連施設の被害の様相

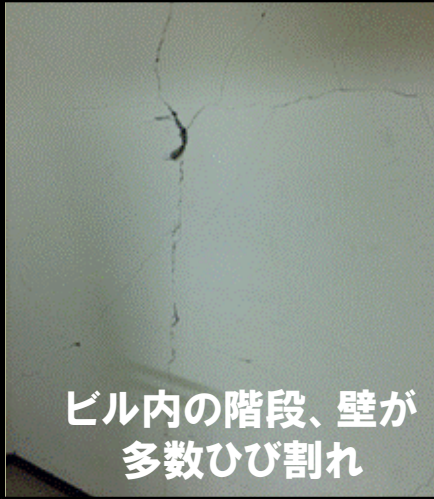
熊本地震の特徴から、ドコモの関連施設も熊本県熊本地方周辺で大きな被害が発生した。具体的には、熊本支店ビル(民間賃貸ビル)の立ち入り禁止、近隣ドコモショップの損壊などである。また、阿蘇大橋の崩落に伴って、基幹伝送路の一部にも被害が生じた。

ドコモ関連施設の被害の様相

ドコモ熊本支店ビル(民間賃貸ビル)



屋上のボイラー煙突が傾いて入室不可



ビル内の階段、壁が多数ひび割れ



熊本支店ビル(民間賃貸ビル)の損壊に伴い、社員の安全確保のため、近隣のドコモ熊本ビルに徒歩で避難のうえ、現地の災害対策拠点を設営。

ドコモショップ(DS)



(DS嘉島店)
建物に多くのヒビ割れが発生したため、修繕工事を実施した後、2016.4.29に営業再開。



(DSイオンモール宇城店)
天井落下等の損壊とスプリンクラー作動による水濡れのためモールが一部休館となり、当面休業。2016.6.30に営業再開。

基幹伝送路の被害



阿蘇大橋付近の土砂崩れによって基幹伝送路が切断。伝送路の冗長化により大きなサービス影響ない。本格復旧には長期化が見込まれるため、既設伝送路を活用した予備ルートを早急に構築。

地震発生後、停電や伝送路断が発生し、最大84局の無線基地局でサービス中断。しかし、熊本県および大分県の全市町村役場におけるサービス中断は発生していない。これは、平素からの基地局の予備電源強化や伝送路の冗長化などの備えによるものである。

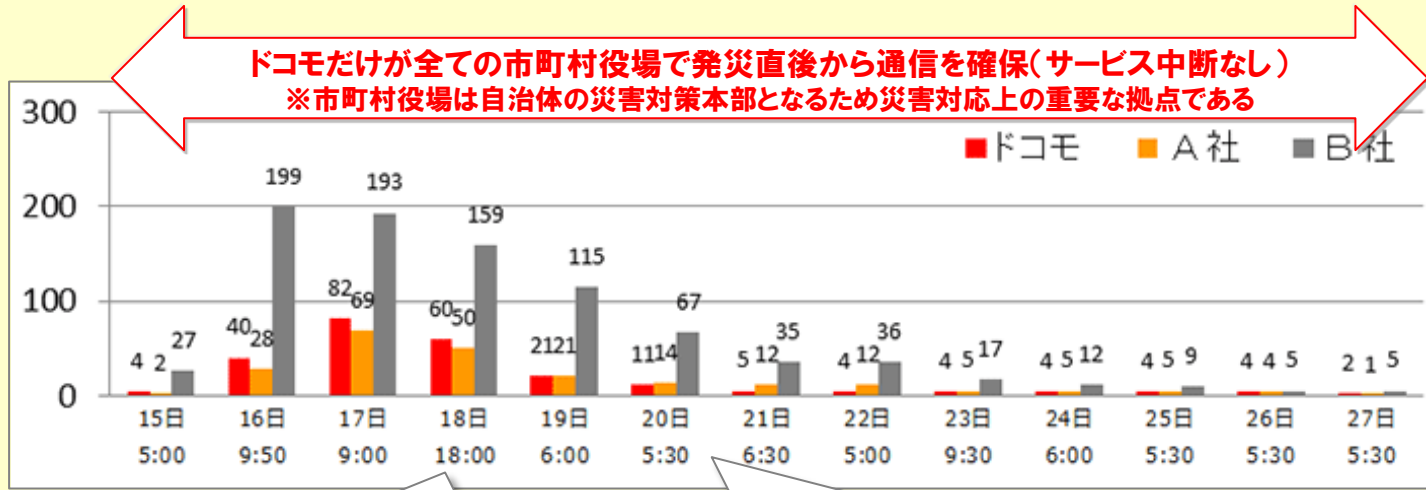
通信設備の被害状況

■現地被害の状況

基地局がサービス中断となる要因はほとんどが停電と伝送路の断である。熊本地震では、住宅や道路の損壊に加え電柱が倒壊したことで、通信線や電力線が切断された。



■サービス中断局数の推移



4月18日(月曜)20時35分に全避難所でエリア復旧

4月20日(水曜)20時59分に地震前のサービスエリアは全て復旧
(立ち入り禁止区域である熊本県阿蘇郡南阿蘇村、熊本県阿蘇市の無線基地局(計4局)を除く)

(内閣府・防災情報のページ(熊本県熊本地方を震源とする地震に係る被害状況等について(4月27日(水曜)20時時点))に基づきドコモにて作成)

停電および伝送路の断に対して、各種災害対策機器を適材適所で活用し、通信サービスの確保に努めた。衛星移動基地局車は、近隣の支社からの広域支援により必要数を確保している。

衛星移動基地局車等の配備 (9か所)

サービス復旧が困難な孤立地区に衛星回線を用いた救済を実施

中ゾーン基地局等の活用 (41局)

通常時 災害時

移動電源車、発動発電機の運用 (32局)

停電が長期化 予備電源が枯渇

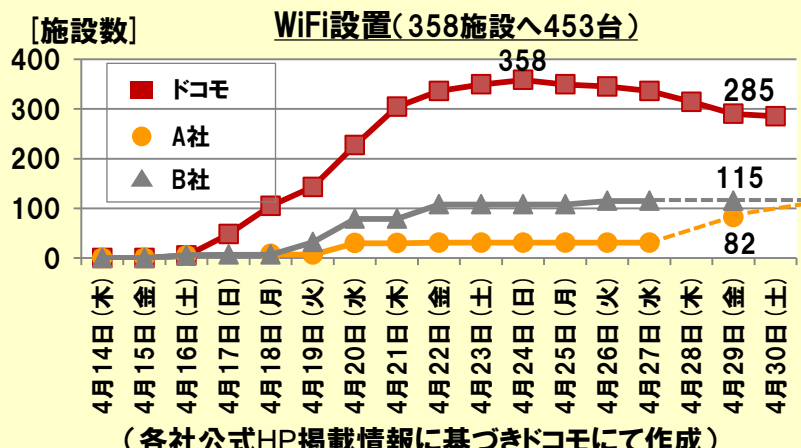
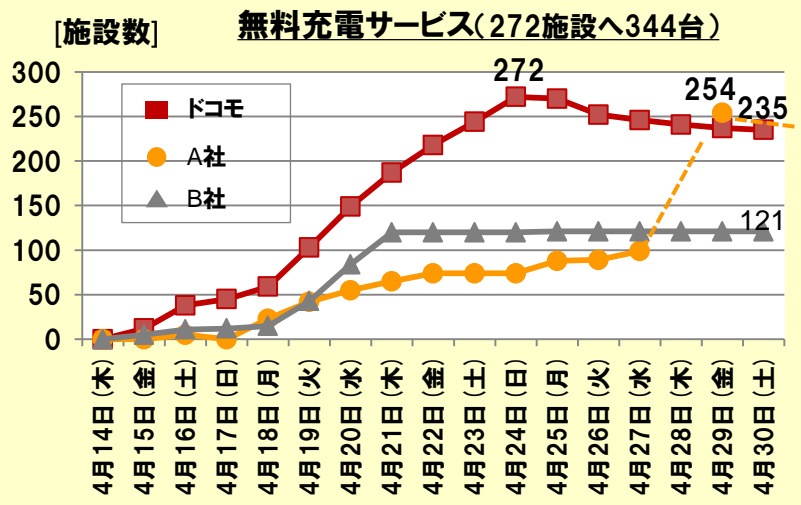
非常用マイクロの活用 (1局)

大観峰臨時マイクロ回線

避難所支援の取り組み

避難が集中する発災直後から、無料充電サービスとWiFi設置を積極的に実施して避難所の通信確保に努めた。さらに避難所の閉開設にあわせて巡回を行うとともに、端末修理などケータイに関するご相談を承る対応も継続的に実施した。

避難所支援の様子



(各社公式HP掲載情報に基づきドコモにて作成)

行政機関等からの要請に応じ、災害復旧関係機関への携帯電話等の貸出しを実施。

※6/8現在で携帯電話(1,776台)、衛星携帯電話(176台)、タブレット(202台)、データ端末(99台)

ドコモからの貸出し対応の特徴として、発災直後から多様な組織に対して貸出しの支援を実施していることがあげられる。

行政機関等への携帯電話等の貸出しの様子

衛星携帯電話



携帯電話



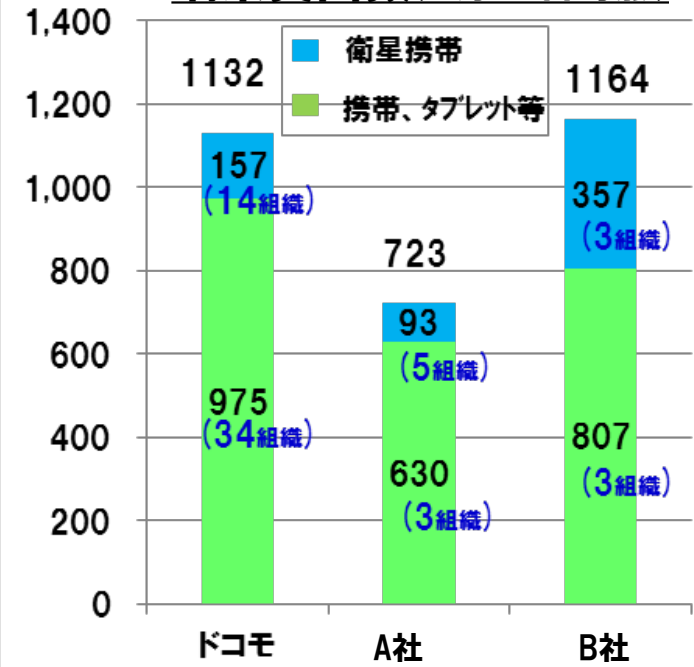
タブレット



データ端末



端末貸出数(4月22日時点)



(総務省HP掲載情報に基づきドコモにて作成)

http://www.soumu.go.jp/menu_kyotsuu/important/kinkyu01_000141.html

+dを含めた多様な復旧支援の取り組み

スマートライフ領域の事業を熊本地震における復興支援に活用。ドコモショップや避難所等へ生活関連物資の支援を行うとともに、熊本現地での社員活動を支えるツール類を配備した。

スマートライフ領域の支援模様

グループ会社	支援先	支援内容	対応模様
らでいっしゅ ぼーや(株)	ドコモショップ スタッフ ドコモショップ 来訪者	食糧等 <ul style="list-style-type: none"> 果物ジュース×33,000個 野菜ジュース×15,000個 サプリメント(ビタミン等)×600個 	
(株)オーク ローンマーケ ティング	熊本県 支店社員	寝具等 <ul style="list-style-type: none"> トゥルースリーパーふんわり座布団×588枚 トゥルースリーパーコンフォート×32枚 サポートマットSピンク×1,152枚 サポートマットSホワイト×288枚 	 <p>トゥルースリーパー ふんわり座布団</p> <p>サポートマットSピンク</p>
(株)ドコモ・ バイクシェア	支店社員	現地巡回、警備用品 <ul style="list-style-type: none"> 電動アシスト自転車10台 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 避難所巡回、ドコモショップ巡回 	 <p>電動アシスト自転車</p>
(ドコモ)	熊本県、 ドコモショッ プ	現地巡回、警備用品 <ul style="list-style-type: none"> Webカメラ20セット <ul style="list-style-type: none"> ➢ 自治体における被災地状況の遠隔監視 ➢ ドコモショップの盗難防止のための監視 	 <p>Webカメラ</p>